

しゅうれんかい（修練会）Q&A

公益財団法人豊島修練会 2017年5月18日号（通算第17号）

子どもとの Q&A (ぎもんやしつもんのある子はすばらしいです！)

Q：テレビを見ていたら、男のアナウンサーが「では、このパンをめしあがってみますと、言っていました。これは正しい言い方でしょうか？（小6）



A：敬語を使おうとしていますが、これは間違いです。自分のことを言っているのですから、この場合は「では、このパンをいただきます」とか「このパンをいただいています」と言うのが正しいです。あなたの言語感覚は素晴らしいです。

大人との Q&A (パパ&ママ、ジジ&ババもいつまでも好奇心を！)



Q：給食は、保護者が給食費を払っているのだから「いただきます」はおかしいのでは、と言うことが話題になりました。我が家では、家でもいただきますと言っていますが、どう考えたらいいでしょうか？

A：誰かにごちそうになった時「いただきます」「ごちそうさまでした」は素直に納得してもらえらると思います。この「いただきます」を言わない国もあります。ところで、給食のときの「いただきます」は、どういう意味なのでしょう？ 私は、父親から「命を食べているのだから、食べ物を栽培している人、食品に加工している人、運んでくれる人、お店にそろえて売っている人、料理（調理）している人、…」だから、感謝の気持ちで「いただきます」と教えてもらったので、納得したことを覚えています。子供の頃のことでした。「いただきます」は、「食べる」の尊敬語です。

学校の先生がたの Q&A (先生にもわからないことがある！)

Q：敬語の使い方について「食べる」を例に説明してください。



A 敬語には3通りの使い方があります。相手を敬う敬語として「尊敬語」、自分を控えめ（りくだる）にいう敬語として「謙譲語」、丁寧に言う敬語として「丁寧語」があります。「食べる」の「尊敬語」は、「召し上がる」「お食べになる」「食べられる」がありますが、ふつうは「召し上がる」を使います。

また、「謙譲語」では、「いただく」「いただきます」を使います。ごちそうになった時は「美味しくいただきました」と言うことが多いようです。

丁寧語では「食べます」を使います。敬語の使い方は、難しそうに思いますが、慣れれば案外適切に使えるようになります。

「丁寧な言葉遣いをしましょう」と言うだけでなく、時には、この場合どのような言い方をしたらいいのか（正しいのか）を、ロールプレイで具体的に指導すると思います。（YAYU）

★備考★[成美教育文化会館]で検索すると、「かけはし」のほか「メッセージ」「Q&A」「ほん本ブック」をはじめ「一字荘」「至楽荘」「会館の会場貸出」など様々な情報が閲覧できます。

